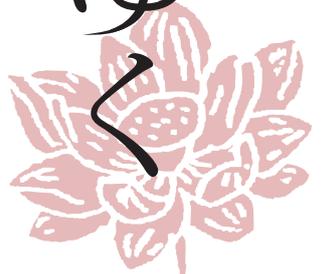


歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像



国宝

平安時代／天野山金剛寺蔵

木造 大日如来坐像

木造 不動明王坐像

木造 降三世明王坐像

仏像 ZOOM UP! +

大日如来は他の如来と異なり、瓔珞や宝冠、腕釧や臂釧をつけた菩薩形をとっている点が特徴である。本坐像も装飾が細部にわたって繊細に表現されている。

※瓔珞は首や胸の装飾、腕釧は手首の装飾、臂釧は上腕部の装飾



実際に三軀が並んでいるとすごい迫力！豪華さと力強さ、大きさに圧倒されます。

今回の歴女

吉村 君子さん

休日はお祭りを追いかけて神社やお寺を訪れることが多いです。お祭りの時の華やいだ雰囲気も好きですが、落ち着いた霧囲気に包まれて見る仏像は、より一層魅力的に感じました。



一般に、如来は修行を完成した者、明王は仏法を守護する存在とされています。向かって中央に大日如来、右に不動明王、左に降三世明王を配する組み合わせは、密教の図像の一つである尊勝曼荼羅を表しているとされます。
本坐像三軀は平成29年9月に国宝に指定されました。像高がそれぞれ、大日如来は313.5センチ、不動明王が201.7センチ、降三世明王が230.1センチであり、金堂に安置されています。
大日如来は宝冠や瓔珞などで飾られおり、その像高もあいまって豪華さがきわだっています。また不動明王と降三世明王は、明王の特徴である憤怒相や火焰光背が力強く表現されています。

彩色された梁もきれい！色鮮やかな建物も見どころです。

